

もくじ

えび人 vol.103	2	文化会館	10
今号の表紙	3	相談	11
小・中学生の 作品を募集します	4	図書館	12
		子育て・HUGHUG赤ちゃん	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期期間 時間時間 場場所 対対象 定定員
 内容内容 講師講師 費用費用 持ち持ち物 他その他 任任期
 条件条件 主主催 Eメール ホームページ 問問合わせ
 申申し込み 予予約制 祝祝祝日・振替休日を除く 休休み

高齢者対象の教室など 健康えびな えびな健康マイレージ対象

市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます

市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。
 ご協力ありがとうございました。

題 字

えびな



「な」の4画目がむずかしかったです。
 東柏ヶ谷小学校 工藤綾乃さん(10歳)

写 真

タイトル：禊祭

撮影場所：戸沢橋付近

撮 影 者：国分北在住
 池田健一さん



(写真上) 社会を明るくする運動推進委員会に相談役として出席

(写真中) 左は中学時代からの愛用ラケット。高校の卓球部の仲間とは今も交流が続く

(写真下) 卒業式でも保護観察の面接でも、優しさを表す「恕」という文字を大切にしている

どもたちの心に届いてくればと思います」。「みんな心で生きているんですよ。更生が一番だけど難しい部分もある。だからせめて、私と話して良かった」と思ってもらえれば。それがその人の生きていく力になると信じて関わっています」

編集雑記

広報誌の編集作業はチームワークです。私は時々、チームが家族構成と似ていると思う時があります。最近、先輩が新人さんに優しく教えている姿がきょうだいのように見え、私も親のような気持ちで見守っていたことがありました。自分の仕事にも穏やかな気持ちで集中することができ、信頼関係がある環境の大切さを感じた心温まる一場面でした。(あ)

心を寄せて 一人にさせない

大乘さんは、小学校の教員、校長、児童相談所職員、保護司という道を歩んできました。「自分の存在を気にかけてくれる人がいない子どもは悪さをしがちなんです。褒められて叱られて、ようやくこつちを向いてくれた」と感じる。他人は鏡だから、人に認識してもらうことで自分が自分だと初めてわかるものなんです」

「対象者の多くは、人から褒められた経験が少ないようだ」と話します。「大切なことは、やっぱり褒めたり認めたりすることかな。この新しい体験が子

今月のえび人

おおのりみみか
 大乘文孝さん
 (国分南在住・79歳)

海老名保護区保護司会相談役、前会長。海老名市卓球協会会長でもあり、海老名市からオリンピック選手を誕生させることが夢。海老名市スキー協会の設立にも携わった。